

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 県営地域水田農業支援緊急整備事業（資料 3 - 3 事業番号 1 0）
- 路線名又は箇所名： 大詫間地区
- 事業の概要
 - 工 期： 平成 1 8 年度～平成 2 2 年度
 - 事 業 費： 2 7 9, 7 6 7 千円
 - 事業内容： 暗渠排水 A = 3 2 9. 3 h a

【公共事業の効果等】

- 農地の排水条件の改善に伴う畑作物の収量増、作付面積の増。
- 乾田化により大型機械の導入が可能となり、労働時間が短縮。
- 上記により優良農地となったことから、作付けの集団化が図られ、担い手農家への農地集積が促進。

【事業実施前の状況等】

- 既存の暗渠排水施設の劣化（疎水材（もみ殻）の腐食、吸水管の変形・目詰まり）により乾田化が図れず、麦・大豆等の生育が悪く、収量が低下した。
- 収益性の高い畑作物の導入が進まなかった。
- 排水不良の水田では、降雨後の機械作業ができず、適期での播種作業等に支障を来していた。
- 上記による長期的な営農への不安から、農地集積が進まなかった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 農地の排水条件が改善し乾田化したことから、大型機械が導入され、労働時間が短縮されている。
- 畑作物の生育向上により収量が増加した。
- 露地野菜や施設栽培野菜の作付けが増加した。

（農家の声）

- 作物の生育が良くなり収量がアップした。
- 耕起等の作業が適期に行えるようになった。
- 乾田化したことで田面の雑草繁茂が減少した。
- 担い手農家への農地集積が進み、大型機械の導入や用水管理が楽になった。
- 弾丸暗渠を実施し暗渠排水の効果が十分発現できるよう取り組んでいる。